

地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー

～歩きやすいまちに～

これまで計 4 回の課題調査部会を開催し、集中的に議論をすすめてきました。



田中委員

中原区では、自転車と生活が切り離せず、高齢者の利用も多い。私の地域では、老人会で自転車のルール・マナーを中心とした交通安全教室を開催した。



スクエアストレート方式の交通安全教室はインパクトがありそう。現役世代や関心のない方に、いかにルールやマナーを意識してもらおうかが重要。



長尾委員



反町委員

地域イベントなどで活躍しているアーティストやミュージシャンなどに広報大使をお願いして、うまく活用すれば、新たな層への広報・PR になるのではないかな。



自転車は軽車両なので左側通行、などルールを知らない自転車利用者がまだ多いのではないかな。利用者の意識を啓発していくキャンペーンの展開がやはり必要。3 月 19 日ニサイクルの日などはどうか。



山崎委員



梶川委員

ベビーカーでの買い物客等が多いのは武蔵小杉駅周辺の特徴。周りへの配慮やベビーカー利用者のマナーを促したいが、ベビーカーだけが悪者にならないように注意したい。



地域の課題解決に向けた取組の審議が大詰めに



あなたの自転車のブレーキ、タイヤ、ライト等は大丈夫ですか？



審議されている取組の案を紹介します。

注：検討中の内容です。最終決定したものではありません。

案 1：「交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大」



世代や対象に応じた取組の拡大…老人会や保護者参観日に交通安全教室、講習などを開催
スクエアストレート方式の交通安全教室の拡大…地域住民が参加できる設定や映像の資料化など

案 2：「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用

啓発標語・ポスターコンテストなどの開催…既存のコンテストとの連携の推進
啓発資料の作成…目に留まる・残る啓発資料（マグネット、カレンダー、しおりなど）の作成
ベビーカー利用マナー・配慮などの啓発資料作成…駅周辺へ掲示・子育て活動の場で配布

案 3：「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント

キャンペーンの展開…サイクルの日（3/19）等の設定、一斉活動や広報の展開、広報大使の活用
発表・交流の場の創出…イベント等への出展・ステージでの発表。取組体験の機会の創出
「自転車安全点検」の実施…自転車の一斉点検、「点検済」などの啓発ステッカーの配布など

その他の検討事項：「みんなで育てる交通マナー」の実現に向けて

多世代参加のワークショップの実施、プランターの配置などによる不法駐輪の防止、中原区版「自転車安全運転者証」の作成、コミュニティバス・循環型バスの検討

今後の審議スケジュール

全体会議（1 月 25 日開催）

での審議を経て、取組提案を最終的にまとめます。



課題調査部会委員：成田部会長、反町副部会長、

梅原委員、梶川委員、田中委員、長尾委員、仲亀委員、松本委員、山崎委員

